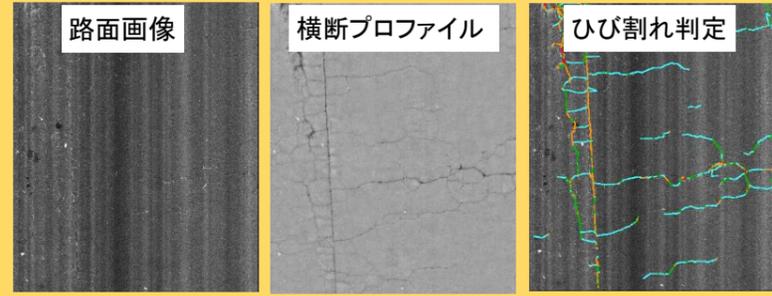
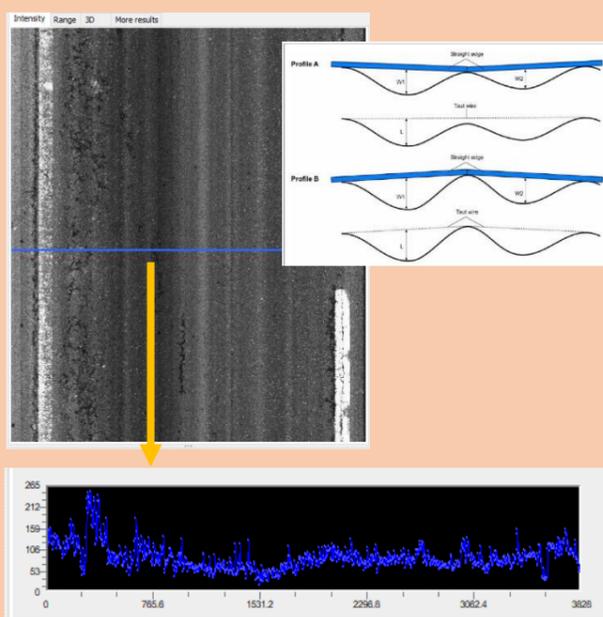


自動判定により安定の品質を確保

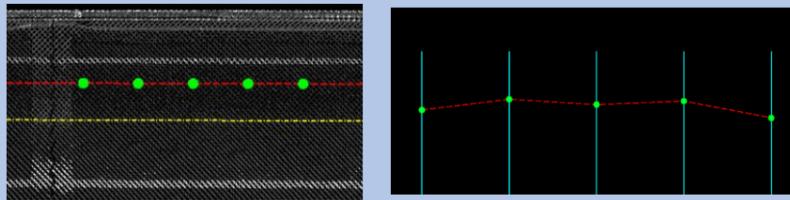
取得した路面画像および横断プロファイルをもとに自動判定したのち、ひび割れ率を算出。



取得した横断プロファイルより各プロファイルを抽出し、規定評価範囲でわだち掘れ量を算出。



路面の3次元形状を計測した点群データよりタイヤ位置を設定し指定測線上の高低差を測定。測定値から平坦性を算出。

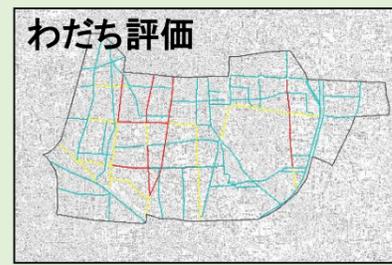
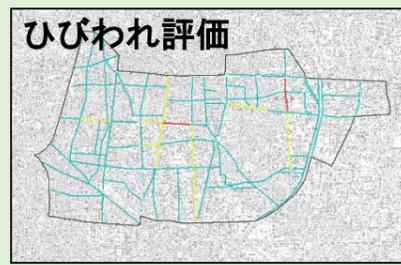
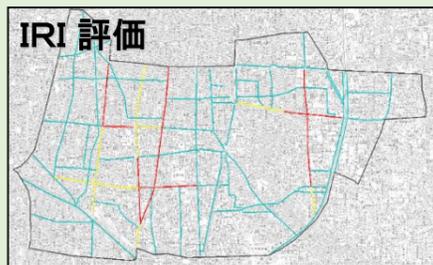


判定結果をGISと連携

調査結果をGIS上に展開する事で、任意箇所の情報取り出しや、全体的な位置関係の把握が行え、包括的な管理が容易になります。
重要路線等の情報を重ねる事で、修繕計画の優先順位の検討も簡単に行えます。



LCMSによる調査結果は位置情報を持っています。



調査結果の「属性」情報をもとに、お使いのGISで色分け表示が行えます

路面性状調査

路面プロファイリングシステム

(LCMS)

路面性状調査

+

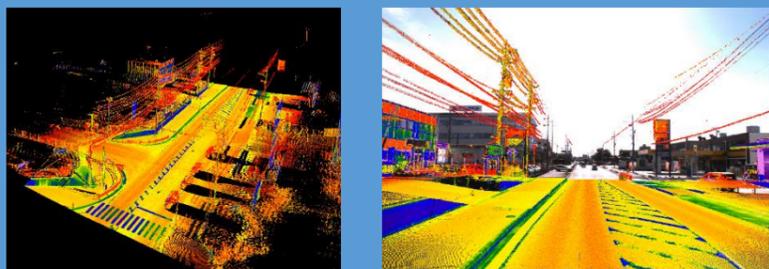
(MMS)

モバイルマッピング

同時計測でコストダウン!!



一財)土木研究センター性能確認試験に合格しました



- 道路台帳修正
- 都市計画
- 住民説明
- 縦横断作成
- その他様々な設計補助で活用

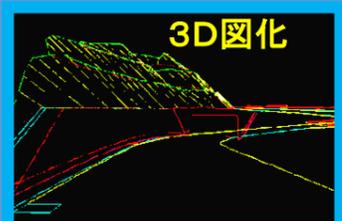


点群とCGによる景観シミュレーション



点群

写真



3D図化



2D図化

3次元レーザ計測 MMS

MMSにより測量座標取得が可能！

路面以外の周辺状況も計測可能！！

CADによる現況平面図作成



- 地震時に倒壊の恐れがある擁壁や民家の塀の調査
- 標識や街灯などの構造物点検
- 道路脇の倒木の把握

360度全周囲画像

周辺の状況を把握及び管理



LCMSは進行方向に3mm間隔に取得した断面形状と輝度情報を結合したデータを生成し、解析を自動で行い、判定結果の数値情報を『属性』として保持します。

縦断プロファイルによりIRIや平坦性を自動判定



IRI判定結果

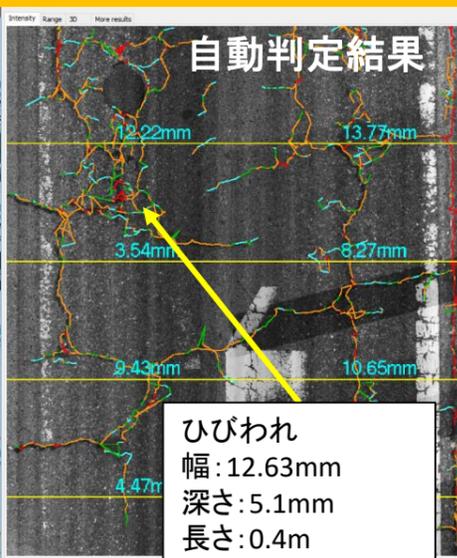


路面性状調査 LCMS

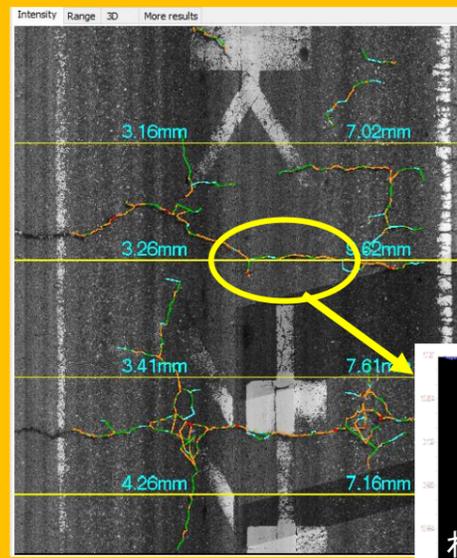
法定速度で走行しながら調査可能！
交通規制不要！渋滞なし！！

自動判定なので、オペレーターによる判定基準の差が無く定量的な判定結果を提供！

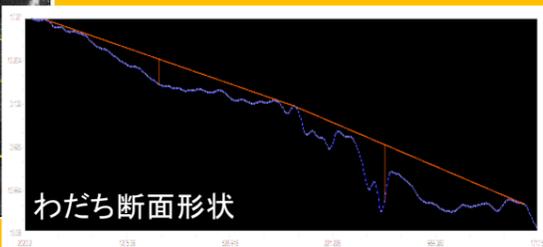
横断方向取得間隔：1mm
進行方向取得間隔：3mm



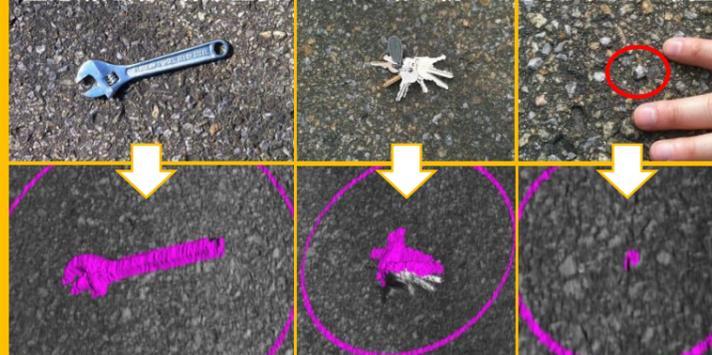
ひびわれ
幅：12.63mm
深さ：5.1mm
長さ：0.4m



わだち断面形状



空港滑走路の様な重要区画での落下物や小さなクラックの調査



4m幅、1mm間隔で取得！ 高い捕捉率！！

幅1mm以上のひび割れの幅と深さを0.5mm単位で計測可能！ 維持修繕計画の精度アップ！！